

痛みの多元的な評価による慢性痛治療のアプローチに関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年5月31日～2026年3月31日

〔研究課題〕

痛みの多元的な評価による慢性痛治療のアプローチ

〔研究目的〕

難治性の慢性痛患者様において、それぞれの患者様にとってより効果的な治療を提供できるようにします。

〔研究意義〕

難治性の慢性痛では、画像所見で異常を認めず、身体的要因・精神心理的要因・環境要因が複雑に絡み合っていることが多いため、痛みを訴えている“人”を包括的に診ることが治療方針を決めるうえで重要です。

〔対象・研究方法〕

2015年4月以降に、帝京大学医学部附属病院ペインクリニック科外来を受診された慢性痛の患者様が対象です。いろいろな慢性痛の病態ごとに、問診・心理検査による多元的な痛み評価の推移を分析し、各種治療法（鎮痛薬・漢方薬・ブロック・鍼・レーザー照射、パルス高周波療法、認知行動療法）の効果を、調べます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 ペインクリニック科

〔個人情報の取り扱い〕

患者様の情報は個人が特定されることのないように完全に匿名化いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部麻酔科学講座 杉本真理子(助教)

研究分担者：帝京大学医学部麻酔科学講座 關山裕詩(病院教授)、佐々木翼(非常勤助手)、田村奈保子(助手)、仲本博史(助手)、名城れい子(助手)、曾根健元(助手)

住所：〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1 TEL：03-3964-1211 (代表)〔内線 16575〕